



新品種の開発に向けた アジサイ（鉢花）のニーズを解明


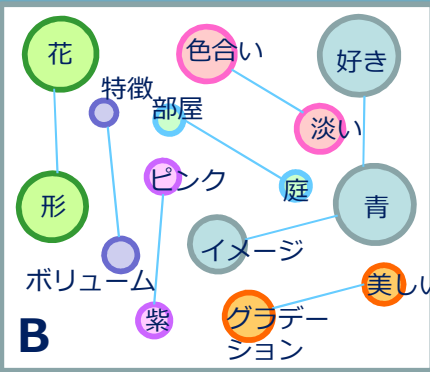
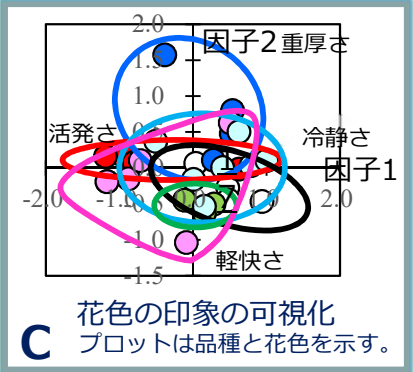
開発の背景・ニーズ

アジサイ（鉢花）は、本県の重要な花き品目の一つであり、近年、消費者の人気が高まっています。優れた新品種を開発するためには、花型、花色を始めとする多岐にわたる形質について、ニーズをとらえた開発目標を設定する必要があります。そこで、消費者、流通関係者と生産者のニーズを解明し品種コンセプトの策定に取り組みました。

成果の内容

消費者、流通関係者と生産者を対象としたアンケート調査とAI（人工知能）を活用した統計的解析により、以下のニーズを解明しました。

- ①購入機会には、母の日等の贈答用の他に自分用の用途
- ②消費者の好みは、花色が青系・淡色青系で、ガクの形状に特徴のあるもの
- ③卸売市場と小売店は、季節感のある花色展開や鉢サイズの小型化
- ④生産者は、インパクトのある外観と高温耐性等の高品質生産できる栽培特性
これらを基に、開発目標を設定するための品種コンセプトを策定しました。

消費者	 <p>A 好きな品種の選択実験 → 青系・淡色青系が上位</p> <p>B 選択理由のテキストマイニング解析※</p> <p>C 花色・花形に関する感性情報の心理学的解析 ※：単語の出現パターンを円（大きさは出現回数に比例）、相関のあるものを線で表示し、感覚的に把握する統計手法</p>	 <p>B</p>	 <p>C 花色の印象の可視化 プロットは品種と花色を示す。</p>
	<p>・花色の印象の強い青が好まれる</p> <p>・部屋・庭の自分用用途</p> <p>・花色の系統間で印象は異なる</p>		
流通関係者・生産者	<p>D アジサイの流通の現状と新品種に望むことのテキストマイニング解析 → 購入機会は母の日と自分用、春から秋の季節感を大切にした花色の展開、花・花房の形状や色のインパクト、消費者が買いやすい小型の鉢の商品化、高温耐性等</p>		

品種コンセプト

用途	母の日等贈答用、自分用	花房・	色の主流は青系・淡色青系、特徴のあるガクの形状等	特性等	栽培 高温耐性、水管理の容易さ、小型の4寸鉢の充実等
----	-------------	-----	--------------------------	-----	-------------------------------

愛知県農業への貢献

アジサイの新品種を開発を進める際に本成果を活用することにより、本県産ブランド品種の開発と確立に貢献できます。ブランド化により、消費者ニーズに応える産地づくりや生産から流通・販売の一体的な対策を進めることができます。

【本研究は、「2020年度次世代国産花き産業確立推進事業」で実施した成果です。】